

出版企画書

平成 26 年 3 月 13 日

和泉堂 – wasendou –

代表 坂上 透

1) タイトル

陽法 手相術 **水鏡法**-m i z u k a g a m i -

2) サブタイトル

線、筋、形を超えたイノベーション手相術。

3) キャッチコピー(帯文)

手相の極意は、動か静か！？

手相の極意は感じるから察するまで！

知りたい事、少し先の未来まで万能手相術公開！

手相新時代の夜明け！手相維新！

4) 本書の内容

ジャンルは占い、手相本に入ります。これまで幾多の手相本が出てまいりましたが、数千年歴史を遡っ

ても、本書のような陽法手相術の記述はございません。手相は人相の代理であり、人相の奥義も手相に

代用できます。線がどう、筋がどう、形がどうを遥かに凌ぐ、動的（陽法）見方を Q U I Z 形式でマニ

ュアル風に製作しております。何事にも憲法があつての法律、営み。手相術の憲法的存在になりうる必

携本であって、鍛錬次第で実用性も飛躍的に（神がかり）上がります。そして、これまでの手相本（静的見方）との融合を目指しております。

その一) 感じる、察するの基本からの掘り起し。

その二) 線、筋、形を超えた、情報の簡便な見方の公開。

その三) 今、すこし先、あの人の気持ちまで瞬間分かる驚愕の手相術。

5) 著者名

和泉堂（監修 北町 吾八） わせんどう・きたまちごはち

6) 著者プロフィール

流派としては1,500年前からの麻衣相法（観相学）を尊く、真摯に継承させて頂いております。一言でいえば、我々の占術の根本はどこまでも動的（陽法）見方の極み。本書で触れますが、動的（陽法）、静的（陰法）のシンプルな棲み分けと陽法の打ち出しをこれからのエンジンに！が実は革命的とも言えます。専門家と言わず、一般の方も目からウロコとも思われます。さて、家系としては約100年。当方（和泉堂）で3代目となります。稼業は指南業、開運業でございます。本内容においての手相や麻衣相学（人相）、易教、そして、別書出版企画の予知技能法「無相」に至るまで、長年一家相伝（一子相伝）で守ってきた技法を一般公開する運びになったのは、第一に現代の混沌とした占い業界への警鐘です。このままでは遊びの占い、まがい物の占い、嘘、偽りがスタンダードになりかねないこの流れを断ち切りたいとの思いからです。そこからの発信で、誰もがこのような人知を超えた、またこれまでにない再現性と精度をもって、それぞれの人生に活かしていただけるようにと大願しております。日本のみ

ならず、世界規模でも通用する内容と自負も致しております。どこまでも「お役に立つ」ことの意義を、これからの占い界（手相）の夜明けとして追及してまいりたいと思う所存でございます。

7) 企画意図

箇条書きでシンプルにまとめてみます。

1. 類書なし。イノベーション分野であること。
2. これまでにない表記、打ち出し方、断言的、飛躍したメッセージが可能。
3. とにかく再現性に富んだ予知能力。
4. とにかく実用性に富んだ機能。
5. 他の類似分野、能力の意義、立ち位置、棲み分けが明快になる。（陽法・陰法）
6. 手相業界の融合が実現。陰法と陽法の大融合。
7. 人間力の高い方に必ず目と心がとまる。

8) 企画の背景

占い本、手相本の過渡期であること。やはりどの分野、書籍も売れた、売れないに関わらず、憲法的存在にはなりませんでした。現代の最新情報（占学問）で、世界広しと言えど、バイブルには中々なりえないのです。それは、あまりに陰法書籍、静的内容、分析、統計的、コピーのコピーであったのと、一部、オーラのような見方を取り扱った手相ジャンルがありますが、あまりに根拠がない、曖昧、その人視点の価値観と表現が過ぎることで、実生活に本質的に活かせないからです。また、何回練習しても活きた情報は見えません。断言します。また、これまでの手相本のように、見たまま、あるがまま、線のまま、形のままを楽しみながら・・・も一応は価値としても、そのことを肥やしに人生を乗り越えて

いけるほど、世の中甘くないわけです。贅沢病（平和ボケ）の最たるものがこの20年もの間、書籍、内容として出尽くしてきました。身近な手相本にしても、ただ単にブームにのり、千数百年前から書いていることをただ単に書き写したものであって、価値は同様です。ただ、その中でもこういった未知なる分野における市民権は比較的多く得られるようになったことは、功績としては大きかったとも思いますが、その後が問題です。これまでの手相本の機能と言いますか、価値はピンクの電話、黒電話であれば、この書籍の内容はスマホ、iPadにいきなり飛躍した内容とも言えます。初めて見る方は、度胆を抜かれるかもしれませんが、憲法的感覚で腹に修めるもよし、楽しみながらもよし、実際に鍛錬し、習得するもよし、いずれにしても、この手相術の再現性、実用性を感じて頂ければそれは確証に変わり、感動に変換できると思っております。それには、出版の段での企画が重要だとも考えております。

9) 読者ターゲット

- ① 20代～40代 女性。がまずメインになると思われます。
- ② 専門分野に精通している老若男女。（占いファン全体）

10) 類書

厳密には類書なし。

過去の手相の本全て。

11) 類書との差別化

信号機のないスクランブル交差点を渡るようなものが、類書。

信号機があるスクランブル交差点を渡るのが、本書。

12) 体裁など

規格や企画はお任せしております。

13)原稿完成の予定

あり。

14) 企画者の要望

規格や企画はお任せしております。

15) この本を制作するために有利な条件

- ・ 教室、セミナー展開を行っております。（現行、小規模）
- ・ 易、占い道具販売を行っており、顧客様として 300 名のリストは保有。
- ・ F A C E B O O K など、S N S 戦略も今後、大いに検討。